

新型コロナウイルス対策での「とねっと」の活用（健康記録編）

1 「とねっと」の機能

「とねっと」健康記録は、計測した体温や肺炎などの呼吸器系の疾患に欠かせない SpO₂（動脈血酸素飽和度）等を計測日時ごとに登録でき、グラフ化により健康状態の推移を観察できるため、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている宿泊施設や自宅療養での経過観察のほか、災害時にも活用できるシステムである。

また、ICT ツールである「とねっと」健康記録を活用することで、医療従事者や保健所職員の業務負担の軽減や感染リスクの低減が期待される。

2 活用方法



【宿泊施設での運用】

- ① 個人情報保護の観点から氏名は、宿泊施設名+部屋番号などで仮登録する。
- ② 体温などを測定後、「とねっと」健康記録へ登録する。
- ③ 駐在している医療従事者が「とねっと」健康記録を Web 画面から参照し、経過観察に役立つ。

【自宅での運用】

- ① 個人情報の観点から氏名は、市（町・村）名+症例番号など偽名で仮登録する。
- ② 体温などを測定後、「とねっと」健康記録へ登録する。
- ③ 保健所職員等が「とねっと」健康記録を Web 画面から参照し、患者へのフォローアップに役立つ。

※「とねっと」健康記録は、スマートフォンアプリ（登録）と Web 画面（参照）がある。

健康記録の使い方はこちら

